

指定管理者制度導入施設の第三者評価結果【対象年度:令和元年度】

1 評価対象施設

施設名	長野県伊那文化会館	所管部・課	県民文化部 文化政策課
指定管理者	一般財団法人 長野県文化振興事業団	指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日

2 評価者(敬称略,五十音順)

評価者名	役職等	備考
北原 節子	伊那市文化スポーツ部文化交流課長	地元市町村関係者
白鳥 彰政	箕輪町教育委員会教育長職務代理	利用者代表
西 一夫	信州大学教育学部教授	指定管理者選定会議構成員
松崎 堅太郎	公認会計士	専門家
横前 勇	社会保険労務士	専門家

3 評価の実施状況

年月日	場所	内容
令和2年11月10日 10:00～12:30	長野県伊那文化会館 (伊那市西町5776番地)	令和元年度の管理運営状況及び県のモニタリング状況について

4 評価結果

※項目は施設の状況等に応じ加除修正してください。

項目	指摘・意見等	左記への対応方針
施設の目的に沿った管理運営	<ul style="list-style-type: none"> ●貸館事業及び自主事業については、コロナ禍の中、各種の制約があると思われるが、県内外からの情報をもとに叡智を結集して、伊那文化会館ならではの地域に寄り添った運営に今後も努めてほしい。 ●住民のニーズに応え、サービスの向上に努められている。また、独自の事業を行い施設利用率が高まっている。今後も地域独自の文化を反映し、より魅力ある事業を実施してほしい。 ●地域に密着した施設の特色を活かした取組として、玄関ホールの飾りつけを、例えば近隣の高校と連携するなど、地域と協力して進めるとよいのではないかと。 ●県民の文化振興と福祉の増進という施設の目的をベースに、年間を通して管理運営がなされている。 ●南信地域の文化拠点としての意識をより一層強く持った運営をお願いしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ●コロナ禍の制約の中でも、安心して利用していただけるよう、他施設の取組等も参考にしながら、地域に寄り添った運営に努めてまいります。(指定管理者) ●部活動での利用が多い高校等との連携を一層密にして、利用を促す方策や、協力した自主事業を検討するなど、特色を活かした運営に努めてまいります。(指定管理者)
平等な利用の確保	<ul style="list-style-type: none"> ●利用者への制限や制約は最小限にし、利用目的に叶う方策を前例にとらわれずに指向してほしい。「〇〇はできない」から「こんな使い方ができる」という発想を豊かに生み出すことで、会館の利用の幅を拡げてほしい。 ●施設利用料金の減免制度について積極的な広報を行い、利用者の増加を図る取組をお願いしたい。 ●幅広い地域から多彩な催し物に会館が利用されていることは喜ばしいことだと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ●利用者のニーズに合わせた柔軟な窓口案内に努め、利用の幅の拡大に努めてまいります。(指定管理者) ●利用の促進と利用者の利便性の向上のため、改修工事に合わせホームページのリニューアルを進めており、その中で、減免制度や利用申込方法等をより分かりやすく広報していきます。(指定管理者)

<p>利用者サービス向上の取組</p>	<p>●現在行っている託児サービス等について、今以上に利用しやすくするとともに、このような利用者の利便につながる情報の積極的な周知をお願いしたい。</p> <p>●親子で来館できるサービスの充実をお願いしたい。</p> <p>●地域(中学校、高校等)の行事を含めながら、身近で親しめるようなものを行うことは、利用者のサービスの向上につながると思う。</p> <p>●利用者目線に合わせながら、ホームページの更新等をお願いしたい。</p> <p>●今後スマートフォン、パソコンを使って情報収集を図る傾向は一層強まると思われる。例えば、会館の利用について、よくある問い合わせについてのQ&Aや利用料金の一覧表をより分かり易い場所に載せるなど、利用者目線に立ったホームページの充実に一層努めてほしい。</p> <p>●フェイスブックやツイッターなど、SNSでの情報発信を積極的に進めてほしい。若年層への情報提供をより積極的に行ってほしい。また、充実した事業とサービス情報を積極的に外部に発信してほしい。</p> <p>●改修後の運営に向けてこれまで行ってきた情報発信の継続に尽力してほしい。</p> <p>●広く公演の案内等を配布することも重要だが、ターゲットを絞った情報提供により効果を上げることも必要と考える。公演の案内等の全戸配布については、伊那市のみでなく、周辺市町村でも実施してもよいのではないか。</p> <p>●イベントガイドはもう少し読ませる工夫があるとよい。事務的な印象があるので、例えば、「大ホールがリニューアル」「プラネタリウムが新しくなります」などの内容を写真付きにしたり、担当者の熱いメッセージを掲載してみるなど、もう少し柔らかくなればよい。</p>	<p>●託児サービスについては、より利便性が高められるよう、場所・方法・PRについて検討します。(指定管理者)</p> <p>●「こどもフェスティバル」の開催や、プラネタリウムの番組内容など親子で楽しめる事業や、地域行事と連携した事業を検討してまいります。(指定管理者)</p> <p>●利用料金やQ&Aについて、利用者目線に立った情報発信に努めるとともに、有効な情報発信ツールとして、SNSの活用を検討してまいります。(指定管理者)</p> <p>●アウトリーチコンサートでは、開催市町村で公演の案内の配布をした例があり、今後は伊那市以外にも公演の案内等の配布について協力を依頼していきます。(指定管理者)</p> <p>●今回の改修工事に合わせ、イベントガイドも全面的な見直しをしており、今後も掲載内容について工夫していきます。(指定管理者)</p>
<p>自主事業</p>	<p>●自主事業の運営・企画に工夫をお願いしたい。地域性のある企画をより充実させ、継続や発展の計画を進めてほしい。</p> <p>●地域ユーザーに特化した事業を行っており、今後も地域文化の維持向上のため努力していただきたい。</p> <p>●南信地区では少ない海外オペラ公演等を主催し、住民にとって貴重な機会となっている。子供たちの出演場面を企画する等の工夫がなされ、なじみのない人でもオペラに触れる機会を創出している。</p> <p>●伊那文化会館の特色がよく出た事業展開がなされていると感じる。一流の音楽家による演奏会(オペラ、オーケストラ、アンサンブル、合唱等)は今後も是非続けてほしい。</p> <p>●アウトリーチ事業は、地域に出向いていくという発想が素晴らしい。近隣地域への計画的な事業展開を望む。</p> <p>●信州農村歌舞伎祭は、人形芝居の伝統が根付く伊那谷ならではの催しであるので、地域文化の継承発展のためにも継続をお願いしたい。</p> <p>●事業の多くが大ホールでの催しのため、小ホールの収容人数を活かした事業展開も考えてほしい。</p> <p>●特色ある事業を多数実施しているが、利用者の声としては、多様な催し物を開催してほしいとの声が多いとのことであり、更なる催し物に関する企画が必要と思われる。地元の中・高校生の利用も多いとのことから、例えば、中・高校生向けの催し物として、ここ数年ほどで、全国的に活躍する上伊那・下伊那地域出身のアーティストなどを招いてイベントを開催してはどうか。地元の中・高校生や出身者が鑑賞者、あるいは出演者となり、次世代の文化の担い手となるような企画は、当施設の特色を活かした企画となると思われる。</p> <p>●事業によって、どのような範囲での広報が適切で焦点化できるか、という点についての工夫がほしい。</p>	<p>●地域と連携しながら、地域の文化資源を発掘・再発見できるような自主事業を展開します。(指定管理者)</p> <p>●開館以来継続して実施しているオペラやクラシックなど質の高い鑑賞事業を引き続き実施します。(指定管理者)</p> <p>●可動席を備えて平らな空間を確保できる小ホールでは以前からリサイタル等を開催してきました。改修工事により音響効果が向上したことや、多目的な利用が可能なことなど小ホールの特色を活かし、今後も積極的に利用促進を図ります。(指定管理者)</p> <p>●上伊那・下伊那地域出身者によるコンサートなどを含め、多様なニーズに応えられるよう幅広いジャンルの自主事業を実施します。(指定管理者)</p> <p>●事業のPR方法や時期については、最も効果が上がるよう、事業ごとに広報媒体を変えたり、チラシ等の配付先の焦点化するなどを検討してまいります。(指定管理者)</p>

(様式3)

職員・管理体制	<ul style="list-style-type: none"> ●限られた人数で運営に尽力されていることに敬意を表す。様々な利用者に対して、それぞれの目線に立った対応を全職員にお願いしたい。初めて足を運ぶ利用者にとっては、窓口で対応してくれる職員の印象が伊那文化会館全体の印象になるので、今後も丁寧な対応をお願いしたい。 ●組織図によると、事業課長などの欠員がみられるが、組織運営上支障のない配置に配慮してほしい。 ●組織的な体制で、情報の共有ができており、よく整った体制と言える。 ●職員18名(正社員7名、無期雇用者3名、有期雇用者8名)で全員社会保険に加入しており、また、定期的に講習会・研修会に参加させ従業員のレベルアップを図っている。労働条件、社会保険、福利厚生についても一定の基準以上に有り、引き続きこの状態を保ってほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ●来館者から、日常から離れた「特別な快適空間」とホスピタリティを期待されていることを十分に認識し、いつでも、誰でも、どこでも明るい笑顔の対応ができるよう職員の資質の向上を図ります。(指定管理者) ●事業課長の配置については引き続き検討していきます。また、催し物の時間に合せてシフトを組むなど、勤務体制を工夫します。(指定管理者)
収支状況	<ul style="list-style-type: none"> ●当施設は独自の自主事業に取り組んでいるという点は高く評価できるが、個別の自主事業の採算を見ると予算段階で赤字となっているものも存在する。このような赤字の自主事業を一律に否定するものではないが、より魅力ある自主事業を継続して運営するためには、それぞれの企画が黒字であることが望ましい。また、指定管理者の財政状況の評価を行うためには、法人全体の貸借対照表を第三者評価に付す必要があると思われる。 ●貸借対照表と損益計算書について、長期的に見ながら行っているため、財務内容を定期的に検討しながら、また一つ一つの事業についても経費を参考に鑑賞料等を検討していくようお願いしたい。 ●文化事業は収益を上げることを目的にしていらないと思うので、黒字を生み出したことに驚いた。職員のみなさんの日頃の努力に感謝したい。 ●剰余金の扱いについては、財団の努力に報いる仕組みとすることが望ましいのではないかと。 	<ul style="list-style-type: none"> ●自主事業によっては入場料収入のみで黒字にすることが困難なものもありますが、補助金・助成金等を活用、協賛企業の募集、PR方法などの工夫をして収入の確保を図ります。(指定管理者) ●指定管理者全体の財務状況の評価については、必要な資料を提示できるよう努めてまいります。(県) ●剰余金の取扱いについては、県の指定管理者制度に関するガイドラインに則った取扱いをしており、その一部については、指定管理者の積立資産に繰入れ、周年事業等に活用しています。(指定管理者、県)
総合評価	<ul style="list-style-type: none"> ●他の県立文化会館にはない特徴を活かし、南信の文化の拠点として文化力向上に貢献している。今後も地域と連携しながら事業運営をお願いしたい。 ●館のリニューアルを契機として、一層の利用者の増加が図られることを期待する。 ●伊那文化会館全職員が一丸となって第4期指定期間の初年度に取り組んできたことが感じられた。開館当初を知るものとして、利用者にとってより開かれた会館となり、地域文化の発信、共有、育成等、多岐にわたる文化的役割を果たすことで、地域文化に貢献していることを嬉しく感じている。今後とも地域住民に愛される伊那文化会館を目指すことで、地域文化の担い手、仕掛け人になってほしい。 ●今後も継続して地域を重視した運営に取り組むことを望む。 ●総合的に目的に沿った運営管理が行われていると思う。今後とも地域の方に利用をされるよう日々頑張してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ●南信地域の拠点として、地域と連携した特色ある館の運営に努めてまいります。(指定管理者) ●今後も仕様書等で定められた管理運営業務が適正に実施されるよう、指定管理者と連携して取組を進めてまいります。(県)